

振興事業

I 江戸東京の歴史に関する資料の展示等

企画展における経営目標を達成するため、①コストを抑え、②協賛金を導入し、③広く都民に告知し、④クオリティを高め、⑤入館者を増やす、という5つの課題に取り組むとともに、大手マスコミと「共同出資方式」による共催を積極的に採用した。

さらに、企画展1本ごとに「3T戦略」(Target: 対象入館者, Timeliness: 時宜, Top of sales point: 目玉資料)を策定のうえ、開催の意義とそれに基づく方向性を明確にし、かつ広報宣伝を戦略的に行った。平成17年度の企画展入館者数は、延べ254日間の会期に計40万392人の観覧者を迎えることができた。

- 1 第1回企画展 「没後100年記念 フランスの至宝 エミール・ガレ」展
 - ・期間 平成17年1月22日(土)～平成17年4月3日(日)
延べ62日間(内、平成17年度分 3日)
 - ・会場 江戸東京博物館 1階企画展示室
 - ・主催 財団法人東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館
日本経済新聞、テレビ東京
 - ・後援 フランス大使館
 - ・協力 日本航空、財団法人北澤美術館、ベル・デ・ベル
 - ・企画協力 アートプランニング レイ
 - ・内容 アール・ヌーボーを代表する芸術家の没後100年を記念し、ヨーロッパにジャポニズムを巻き起こした氏の全貌を紹介する企画。作品点数200点の内、40点が海外美術館や、デンマーク王室所蔵作品で日本初公開。ガレが達成した広範な創造の世界と奥深い芸術への理解を深める機会を提供した。
 - ・観覧料 一般1,200円 大学・専門学校生960円 小中高生・65歳以上600円
 - ・入場者数 13,818人 (1日平均 4,606人(H17年度のみ))
(総入場者数150,690人 (1日平均2,430人))

- 2 第2回企画展 「新シルクロード展 幻の都 楼蘭から 永遠の都 西安へ」
 - ・期間 平成17年4月16日(土)～7月3日(日) 延べ69日間
 - ・会場 江戸東京博物館 1階企画展示室
 - ・主催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
NHK NHKプロモーション 産経新聞社
中華人民共和国新疆ウイグル自治区文物局 中華人民共和国陝西省文物局
 - ・後援 外務省 文化庁 中国大使館 フジサンケイグループ
 - ・企画協力 東京国立博物館
 - ・特別協賛 東洋証券 NTTコミュニケーションズ

- ・協 賛 日本写真印刷
- ・協 力 佛教大学ニヤ遺跡学術研究機構 J A L A N A
- ・内 容 中国におけるシルクロード文化の精髓が凝縮された優品によって、シルクロードの未知の実像に迫るもの。中華人民共和国新疆ウイグル自治区と、古都・西安で相次いだ新発見の遺物を中心に、タクラマカン砂漠東端に位置する幻の都・楼蘭における古代王国の遺跡や、かつての東西交流の様を如実に示す西安近辺の壁画墓など、世界初公開品17点を含む約130点を一同に公開した。
- ・観 覧 料 一般1,100円 大学・専門学校生840円 高校生・65歳以上450円
- ・関連事業 関連コンサート「異邦響楽アンサンブル シルクロードの風韻」
 - 第1回 5月21日(土) 14:30～15:15 223人
 - 第2回 6月5日(日) 14:30～15:15 281人
- ・入場者数 186,189人 (1日平均2,698人)

3 第3回企画展 「発掘された日本列島2005—新発見考古速報—」展

- ・期 間 平成17年7月12日(火)～8月21日(日) 延べ32日間
- ・会 場 江戸東京博物館 1階企画展示室
- ・主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館 文化庁
- ・共 催 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 全国埋蔵文化財法人連絡協議会
全国史跡整備市町村協議会
- ・事 務 局 財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
- ・特別協力 朝日新聞社
- ・協 力 インターネットミュージアム事務局
- ・後 援 NHK
- ・協 賛 株式会社ジャパン通信情報センター 株式会社東都文化財保存研究所
- ・内 容 毎年、全国で1万件を数える埋蔵文化財の発掘調査が行われている。しかし、一般の人びとがその成果を実際に目にする機会は、たいへん限られている。そこで最新の発掘調査の中から、とくに注目される出土品を中心に紹介するとともに、考古学資料に親しみながら、「埋蔵文化財保護」に対する理解を深めてもらう展覧会とした。本年度は全国史跡整備市町村協議会40周年記念事業としてテーマ展示「現代によみがえる遺跡」を実施する他、東京会場のみ独自の企画として「浅草の中近世」の特別展示を実施した。
- ・観 覧 料 一般500円 大学・専門学校生400円 小中高生・65歳以上250円
- ・関連事業 (1)講演会「キトラ古墳を考える」
 - 日 時 平成17年7月30日(土) 13:30～17:00
 - 講 師 白石太一郎(奈良大学)
川野邊 渉(東京文化財研究所)
花谷 浩(奈良文化財研究所)
 - 場 所 東京都江戸東京博物館1階ホール
 - 参加者 302人

(2) 学生ボランティアによる展示解説（常時）

・入場者数 35,079人（1日平均974人）

4 第4回企画展「美しき日本—大正昭和の旅」Beautiful Japan展

・期間 平成17年8月30日（火）～10月16日（日） 延べ42日間

・会場 江戸東京博物館 1階企画展示室

・主催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館 毎日新聞社

・後援 国土交通省 東日本旅客鉄道株式会社

・協力 財団法人日本交通公社

・内容 大正から昭和初期にかけて交通網が発達し、観光地が整備され観光ブームが起こったことに注目し、当時の日本が「美しい」日本を海外へ売り込み、観光客誘致に働いた動き、そして日本古来の名所を盛り上げる「日本新八景」選定の一大ムーブメントなど、90年前の無声映画フィルム、日本の旅風景を伝える絵画・ポスター・幻灯原板を中心に、当時の観光ブームの背景と展開を探った。

・観覧料 一般900円 大学・専門学校生720円 小中高生・65歳以上450円

・関連事業 (1) 講演会 映画「Beautiful Japan」が映した大正の日本

日時 平成17年9月10日（土） 14:00～15:30

講師 岡田正子（映画研究家）

場所 東京都江戸東京博物館1階映像ホール

参加者 54人

(2) スペシャルトーク

日時 平成17年9月23日（金・祝） 17:00～18:00

講師 新田太郎（学芸員）

小山周子（学芸員）

須藤 晃（毎日新聞社事業企画委員）

場所 東京都江戸東京博物館1階会議室

参加者 37人

・入場者数 37,765人（1日平均899人）

5 第5回企画展 「生誕120年 川端龍子」展

・期間 平成17年10月29日（土）～12月11日（日） 延べ38日間

・会場 江戸東京博物館 1階企画展示室

・主催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館 毎日新聞社

・内容 大正～昭和に活躍した日本画家で、我流で日本画に挑み、洋画の技法を取り入れて独自の作風を確立した川端龍子の生誕120年を記念し、青龍社時代の作品を中心に約130点を展示。芸術鑑賞の場を展覧会会場であることを明確に提唱し、従来の日本画の型を破る奇抜、豪放、大画面の作風を次々と生み出した在野の巨人の「会場芸術」を紹介する。

・観覧料 一般1,000円 大学・専門学校生800円 小中高生・65歳以上500円

- ・関連事業 ギャラリーコンサート
 - 日 時 第1回 平成17年11月3日(木・祝)
 - 第2回 平成17年11月25日(金)
 - 両日とも 第1幕18:30~19:05
 - 第2幕19:20~19:55
 - 会 場 企画展示室内
 - 出演者 新日本フィルハーモニー交響楽団メンバー4名による
「すみだ弦楽四重奏団」
 - 曲 目 第1回 クロード・ドビュッシー
「弦楽四重奏曲ト短調Op. 10」
ヨハン・セバスチャン・バッハ
「管弦楽組曲第3番ニ長調BWV1068から第2曲 アリア
(G線上のアリア)」
 - 第2回 ドミトリー・ショスタコーヴィチ
「弦楽四重奏曲第7番嬰へ短調Op. 108」
ヨハン・セバスチャン・バッハ
「管弦楽組曲第3番ニ長調BWV1068から第2曲 アリア
(G線上のアリア)」
 - 参加者 第1回第1幕 110人 第2幕 20人
 - 第2回第1幕 175人 第2回第2幕 45人
- ・入場者数 34, 837人 (1日平均917人)

- 6 第6回企画展 大河ドラマ『功名が辻』特別展「山内一豊とその妻」展
- ・期 間 平成17年12月23日(金・祝)～平成18年2月5日(日) 延べ38日間
 - ・会 場 江戸東京博物館 1階企画展示室
 - ・主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館
NHK NHKプロモーション
 - ・後 援 文化庁
 - ・協 賛 ハウス食品
 - ・企画協力 土佐山内家宝物資料館
 - ・内 容 槍一筋の働きにより、織田信長、豊臣秀吉に仕え土佐一国の太守にのし上がった山内一豊の波乱の人生を、土佐高知藩に残された遺品や戦国を代表する資料を基に紹介。また一豊の妻をはじめとする戦国の女性たちの生き方にもスポットをあて、国宝「古今和歌集(高野切)」など土佐高知藩山内家に代々伝わった名品の数々も併せて展示する。
 - ・観 覧 料 一般1,200円 大学・専門学校生960円 高校生・65歳以上600円
 - ・関連事業 新春スペシャルトークショー
 - 日 時 平成18年1月2日(月・祝) 14:00~16:00
 - 会 場 東京都江戸東京博物館1階ホール

内 容 第1部「講演会」

講師 小和田哲男（静岡大学教授・大河ドラマ時代考証）

第2部「トークショー」

ゲスト 高山善廣（プロレスラー・「蜂須賀小六」役）

小和田哲男

参加者 375名

・入場者数 64,950人（1日平均1,709人）

7 第7回企画展 「江戸の学び ―教育爆発の時代―」展

・期 間 平成18年2月18日（土）～3月26日（日） 延べ32日間

・会 場 江戸東京博物館 1階企画展示室

・主 催 財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館 東京新聞社

・後 援 東京私立中学高等学校協会、東京私立初等学校協会

・協 賛 T O S H I B A

・内 容 江戸時代、寺子屋の広範な普及がみられ、庶民の読み・書きの能力は、世界に類を見ないほど高度に発展した。この基礎的な読み書き能力の向上によって、文字が日常生活の中で不可欠なものとして浸透し、多様な書物を読む人々、俳句や川柳といった詩文を楽しむ人々、非常に高度な図形問題を解く人々など、様々な趣味や学びを積極的に楽しもうとする文化が定着し、社会の成熟度が高揚した。寺子屋における学びのあり方や、日常生活の中の文字普及、俳句・和算の流行、立身出世を夢見て学問吟味に望んだ武士の姿など、今改めて江戸時代の学びのあり方を見つめ直し、学びにかかわる様々な側面を検証する。

・観 覧 料 一般1,000円 大学・専門学校生800円 小中高生・65歳以上500円

・関連事業 からくり実演

回 数 1日3回（①10:50～11:20 ②13:50～14:20 ③15:50～16:20）

実演者 東野 進（日本からくり研究会理事長 土・日）

半屋春光（からくり研究家 火・木・金）

中川 進（からくり研究家 水）

松島いずみ（半屋春光弟子 3/9のみ）

山本 弘（半屋春光弟子 3/25のみ）

会 場 東京都江戸東京博物館 1階映像ホール

参加者 延べ6,423人

・入場者数 27,754人（1日平均867人）